

DUO PROJECT 2023  
第2回 Duo オーディション  
応募要項

主催：一般社団法人 Music Dialogue  
共催：Hakuju Hall/株式会社 白寿生科学研究所

## I. 概要

### 1) デュオ・オーディションについて

アンサンブルの最小編成である「二重奏 Duo」を、室内楽としてどう演奏するべきでしょうか。問題提起の一環として、Music Dialogue はアンサンブルの原点に立ち戻り、二重奏曲を探究する Duo Project を 2021 年に始動させました。この度、第2回 Duo オーディションを開催いたします。

デュオを構成する二つの楽器の組み合わせは様々ですが、室内楽を通じて「対話 Dialogue」する機会を提供してきた Music Dialogue のオーディションでは、意図的に二つの楽器を対等に扱う二重奏のレパートリーに限定。デュオとしての演奏実績は問いませんが、個人技ではなくアンサンブルとしてのパフォーマンスを審査いたします。

このオーディションは、参加者のなかで相対的な優劣をつけるためのものではありません。真摯な追求姿勢を持つ演奏芸術家を目指すために必要な、秀でた音楽性、演奏技術、演出力は勿論のこと、自分の演奏に個性を持たせる表現力や、将来性を感じさせる発想力を持った若い演奏家たちを見出し、Music Dialogue という、“研究・研鑽の場”を提供することを目的としています。

オーディションで選出される「Music Dialogue デュオ・アーティスト」は、2023年11月に Hakuju Hall で開催される Duo Project 最終演奏会にて、竹澤恭子・上田晴子という世界的な演奏家と共演する機会を得られるだけでなく、演奏会にむけての数か月間はコーチングや公開リハーサルなど、音楽づくりのプロセスを深堀し実践する経験を積むことができます。

Duo Project ではコーチ陣やスタッフ、サポーターなど色々な立場の人たちと濃密に関わり合いながら、演奏家として成長するために何を学ぶべきなのかを考える機会であると捉えていただき、それに向けて私達も出来る限りのサポートをしていきたいと考えています。ご応募をお待ちしております。

2022年9月4日に開催された DUO PROJECT Concert 2022 の詳細や関連記事（ページ下部）は以下の URL からご覧いただけます。

<https://music-dialogue.org/event/duo-project-2022/>

## 2) 審査対象となる楽器編成

「ヴァイオリンとピアノ」「ヴィオラとピアノ」「チェロとピアノ」のいずれか。

## 3) 審査日程・内容

### ■スケジュール

- ・応募期間： 2022年11月5日（土）～12月5日（月）23:59ㄨ切
- ・音源審査結果通知： 2023年2月7日（月）メールにて通知
- ・本選： 2022年3月7日（火） 会場：ティアラこうとう小ホール

### ■審査内容

#### ○音源審査

各々のデュオ・チームは下記の内容が含まれた二つの動画を提出する。

#### ① 課題楽章（繰り返しは無し）

##### ◇ヴァイオリン

ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第7番 ハ短調 作品30-2 第2楽章  
II. Adagio cantabile （10'）

##### ◇ヴィオラ：

シューベルト：アルペジオーネとピアノのためのソナタ イ短調 D821 第1楽章  
I. Allegro Moderato （9'）

##### ◇チェロ：

ベートーヴェン：ピアノとチェロのためのソナタ 第3番 イ長調 作品69 第1楽章  
I. Allegro, ma non tanto （10'）

#### ② 自由選曲

二つの楽器が対等に扱われた作品（例：「ピアノと〇〇のためのソナタ」など）の中から、1800年以降に出生した作曲家による曲を自由選曲し、45分から60分のプログラムを用意する。但し、自由選曲の曲は音源審査に提出した曲でなくても良い。

#### ○本選

審査員が指定した40分前後のプログラムを演奏する（自由選曲のみ）。

結果発表は審査終了後の会場で行う。

※自由選曲の曲は音源審査に提出した曲でなくても良い。

=====

#### 選曲例

・音源審査

- ① 課題楽章 (10分)
- ② シューマン ピアノとヴァイオリンの為のソナタ 第1番 20分
- ③ ストラヴィンスキー ヴァイオリンとピアノの為のデュオコンチェルタンテ 16分

・本選審査

- ① ストラヴィンスキー ヴァイオリンとピアノの為のデュオコンチェルタンテ 16分
- ② フランク ピアノとヴァイオリンの為のソナタ 30分

=====

#### 4) 審査員〔\*審査委員長〕

大山平一郎（ヴァイオラ）\*、上田晴子（ピアノ）、竹澤恭子（ヴァイオリン）、Music Dialogue アーティスト代表

#### 5) 注意事項

- 1 曲目提出後の変更は認めない。
- 2 書類提出後、参加承認後にメンバーの変更が生じた場合は、参加資格を失う。
- 3 予選および本選で使用するピアノはベヒシュタイン B210型（C.BECHSTEIN B210）、調律のピッチは442Hzで用意する。
- 4 審査結果については、いかなる者も異議不服を申し立てることができない。
- 5 このオーディションに参加するにあたっての旅費・宿泊料、並びにその他の費用に関しては、参加者本人が負担する。

#### 6) 合格者特典

- ・ オーディション本選審査員（上田晴子、竹澤恭子、大山平一郎）によるコーチングと、Duo Project 最終演奏会(※)での共演機会の提供
- ・ Music Dialogue が主催する室内楽演奏会（ディスカバリーシリーズ他）への出演の可能性
- ・ カメラマン平舘平氏によるデュオ・プロフィール写真の撮影

※Duo Project 最終演奏会は2023年11月前半（平日夜）にHakuju Hallで開催の予定。

## II. 申込方法

### 1) 応募資格

各々の奏者が日本国籍、もしくは日本在住であり、応募締切時点で18才以上満32歳以下であること（1990年12月6日~2004年12月5日に出生した方）。

### 2) 応募の際に提出するもの

- 1 申込書：WEBサイトからダウンロードして記入し、PDFファイルとしてメールに添付（全5頁）
- 2 プロフィール写真：JPEG, PNGファイルなどをメールに添付
- 3 第一次予選曲目を以下の注意事項に従って録画録音。YouTubeにアップロード（限定公開を推奨）して、そのURLと演目を申込書に記入すること。

#### 注意事項

- ・1台の固定カメラで撮影し、デュオの両名が楽器と共に常時映っていること。
  - ・楽章内での編集は認められない。曲間と楽章間のカットは認める。それ以外の編集は、映像・音声ともに認めない。
  - ・作成された音源を審査の為に再生した時に、過度な編集がされていると思われる音源は、審査不可能として、失格とする事もある。なるべく自然に聴くことが出来る音源を提出すること。（例えば、録音する場所が、音の残響の長い環境である所は避けるなど）。
  - ・アップロードされた動画の解像度は、480p（854x480/DVDと同程度）よりも高いことが望ましい。
- 4 身分証明書：応募者それぞれの名前、生年月日を証明する公的書類の写し（パスポート、運転免許証、健康保険証、住民票など）をPDFやJPEGファイルなどでメールに添付
  - 5 推薦状：各々の奏者に対し、1通ずつの推薦状（それぞれ別の人物であること）。ただし応募者が送付するのではなく、署名した推薦者自身が**2022年12月5日（月）23:59までに**直接、Music Dialogue オーディション係までメールにて送信する事。応募者から送信したものは無効となる。

推薦状送り先：[audition@music-dialogue.org](mailto:audition@music-dialogue.org) オーディション係 宛

### 3) 参加料

3万円（税込）※デュオとして

1. 申込を受理した方に通知する案内に従って、納入期間内（通知から10日以内）に参加料を指定の口座へ振り込むこと。
2. 振り込み手数料は参加者で負担すること。

3. 自然災害など、やむを得ない事情で本事業が中止となった場合、参加料は返還される（※振り込み手数料を除く）。

#### 4) 応募締切

2022年12月5日（月）23:59まで

送付先：一般社団法人 Music Dialogue（住所：〒153-0062 東京都目黒区三田 2-15-10）

お問い合わせ先：[audition@music-dialogue.org](mailto:audition@music-dialogue.org) Duo オーディション係